

事業シート

事業名		H28年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
環境保全の啓発・活動事業		157 千円	千円	千円	千円	157 千円
環境衛生部環境保全課						
根拠法令						
事業の目的・対象		市民や事業者に対し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心・理解を深め、行動してもらうための啓発活動を行う。				
事業の必要性		近年の地球環境問題が、私たちの日常生活や社会システムの変化と密接に関わっており、一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルへの転換を図る必要がある。				
事業の内容		<p>1. エコドライブ啓発事業</p> <p>① 「出張！エコドライブ情報局」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月（環境月間） 64人/1週間 ・12月（地球温暖化防止月間） 70人/日 ・ショッピングセンターやコミュニティセンターで実施 ・「エコドライブシミュレーター」の操作を体験し、普段の運転とエコドライブの違い（燃費、温室効果ガス排出量など）を実感してもらう ・JAF講師を招き、エコドライブに関する講演会を行う ・過去（～H26）トヨタ自動車北海道㈱にて実車でのエコドライブ体験を行った <p>② 自動車燃費計の無償貸出（※H29～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車に取り付けて瞬間燃費などを表示し、エコドライブを実践して省エネ効果を実感してもらう。 <p>2. 節電・省エネ啓発事業</p> <p>① 「わが家の節電コンテスト」</p> <p>家庭で節電・省エネに取り組んでもらうため、年1回、2ヶ月間の期間を設け、前年同期比の電気使用量「削減量」「削減率」部門でのコンテストを実施。各部門、上位5世帯を表彰し（順位に応じて賞状+副賞）、参加全世帯（51世帯）に記念品を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副賞（例）～自転車、ソーラーライト、節水シャワーヘッド、圧力鍋、商品券 ・参加賞（例）～LED電球、冷蔵庫用カーテン、エコバッグ、保冷バッグ <p>② 電気使用量測定器（エコワット）の無償貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電製品に接続して電気使用量を測定し、節電を意識してもらう。 				
コスト		人件費				
事業費 (H28年度決算額)	157 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	687 千円	担当正規職員	687 千円	0.1	人	
総 計	844 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H28年度	H27年度	H26年度
	1-①事業の参加人数（年間）		人	約134	約100	13
	2-①事業の参加世帯数／募集世帯数		人	51/100	69/100	74/100
	2-②事業の貸出件数		件	5	5	22
成果目標	本事業での経験を通じて地球環境問題への意識と行動を促進し、環境負荷の少ないまちづくりを実現していく。					
事業の課題、今後の方向性等	今後も環境保全の啓発のための事業を継続して行う。若い世代の参加人数を増やすための工夫が必要。					
特記事項						